

保育計画成果報告書

法人名等	株式会社 いちにいさん
施設名	第2紫山いちにいさん保育園
報告者（役職）	千葉 真理（園長）
住所・連絡先	宮城県仙台市泉区紫山4丁目20-4
	☎ 022-377-0377
	E-mail dai2@m123-h.com

○タイトル（保育計画）

感覚・感触遊びを楽しみたい！！

○主な助成備品

プール、水遊び用の玩具、ミニタブ等

1. 保育計画策定の目的

第2紫山いちにいさん保育園は、家庭的で温かみのある保育を目指し、2021年4月に開園した、小規模保育園です。

当保育園では、五感で感じられる保育を目指しています。天気の良い日には、園の近くにある公園へお散歩に行き、実際に季節ならではの草花や生き物を見つけ、触れることで季節の移り変わり等を感じられるように努めています。他にも、米粉や氷を使用した感覚遊び等も積極的に保育に取り入れています。

夏季にはウッドデッキで水遊び等を行ってきました。昨年度までウッドデッキ自体が狭かったこともあり、今年度拡張工事を実施しました。ウッドデッキが広がったことにより子どもたち同士でぶつかることもなく、楽しそうに遊んでいます。年齢の幅が大きく、異年齢保育をしている中での現環境では水遊びを楽しむことができない現状であることから今回、子どもたちがのびのびと体を動かせる環境を作りたいと考えました。

2. 具体的な実施内容

今回プールと水遊び用のおもちゃの導入にあたり、安全に使用できるように職員間でプールの使用方法や子どもたちとの水遊びの約束事を含め、マニュアルの変更と確認を行いました。

【水遊び】

プールと水遊び用のおもちゃを使用し、年齢に応じて思いっきり体を動かして遊ぶ。

【0歳児】

- ・水の感触に慣れ、水遊びで心地よさを感じられるように外気温と水温、体調に配慮しながら行う。
- ・始めは、手や足から水をかけて少しずつ興味をもってもらうことから始める。
- ・慣れた頃に、個別プールに水をはり水に触れたり、体にかけてたり、おもちゃを浮かべることで水の感触を楽しむ。



初めての水遊びで、びっくりして泣いていることもありましたが、徐々に感覚にも慣れて、じょうろから出てくる水を不思議そうに見ながらつかもうと一生懸命手を伸ばして遊んでいました。

【1.2歳児】

- ・水に親しみ、プールで遊びを楽しむ。
- ・プールの水温や量、塩素の確認を行う。
- ・新入園児は、水遊びやプールに対して抵抗を示すことも多かった。0歳児同様少しずつ水に触れることで抵抗をなくしていった。



みんなで輪になって座り、バタ足の練習をしました。水しぶきが上がると楽しそうな声が聞こえてきました。



プールの水を集めて、「いっぱい!」と見せてくれました。



プールからアイスキューブを拾って、大事そうにバケツにしまっています。

【色水遊び】

- ・色水を作ることを楽しむ。
- ・色彩が変化することを知る。



みんなでペットボトルを振って色水を作りました。

色水をジュースに見立てて、最後は大きなたらいに入れて色の変化と、水の感触を楽しみました。

3. その成果と評価

普段から散歩が大好きな子どもたちですが、夏季は熱中症のリスクも高く、屋外での行動は制限されるため、プールや水遊びは子どもたちが楽しみながら体を思い切り動かすことができる数少ない活動です。

今までは、家庭用のプールを使用していましたが大きなプールや新しい玩具で遊べることを知り、子どもたちはプールや水遊びを楽しみにして登園するようになりました。

2歳児が自分で着脱できている姿を見て、1歳児も真似て積極的に着脱に取り組む姿も見られました。

プール活動中には、水に触れる感触が「楽しい」「気持ちいい」や、バシャバシャ、ザブザブといろいろな音がする様子や、水面に光が反射して「キラキラする」等と口々に体験したことを嬉しそう話す様子がありました。

また、水遊び用の玩具を使用することで水の面白さを知ることができ、水面に船を浮かべたり、じょうろで高いところから水を流したりすることで水が形を変えていく面白さ、不思議さを自然と体感できたと感じました。

4. 今後の課題と展望

この度、助成していただいたプールや水遊び用の玩具を使用することで様々な成果が見られました。

子どもたちは多くの可能性を秘めているため、遊びを通して、表現力や発想力、自主性等を育めるような環境を整備していきたいと思いました。

また、夏季以外でも玩具等を活用することで、子どもの興味や関心が湧くような遊びの設定をしていきたいです。これからも、子どもたちの「やってみたい」「楽しい」を実現できるような保育を進めていきたいと考えています。

以上